

2017年12月15日

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社
三菱地所株式会社
株式会社 NIPPO

国内最大級のマルチテナント型物流施設「ロジポート川崎ベイ」着工

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役兼 CEO 中嶋 康雄、以下「ラサール不動産投資顧問」、三菱地所株式会社(本社:東京都千代田区、執行役社長 吉田 淳一、以下「三菱地所」、株式会社 NIPPO(本社:東京都中央区、代表取締役社長 岩田 裕美、以下「NIPPO」)の3社が共同開発する大型物流施設「ロジポート川崎ベイ」は、12月15日に着工しました。竣工は2019年5月31日を予定しています。

「ロジポート川崎ベイ」は、ラサール不動産投資顧問、三菱地所、NIPPOの3社が共同出資する特定目的会社が事業主体となって開発するもので、敷地面積134,832㎡、延床面積296,798㎡の国内最大級[※]の5階建てマルチテナント型物流施設です。川崎市川崎区に立地する当施設は、最寄りの首都高速湾岸線の東扇島出入口まで約1.5kmに位置し、大消費地である東京や横浜へのアクセスに優れています。また、川崎港の至近に位置していること、および、首都高速湾岸線を経由して各高速道路へのアクセスも良好なことから広域への輸配送もカバーできる物流適地に立地しています。さらに、当施設の周辺地域が工業専用地域のため24時間稼働が実現でき、機動的な物流オペレーションの構築が可能です。2023年度には臨港道路東扇島水江町線が完成する予定であり、より一層の交通利便性の向上が期待されています。

※:延床面積296,798.74㎡は、竣工予定の2019年5月時点において民間の物流施設で国内最大面積となります。(2017年12月現在 株式会社一五不動産情報サービス調べ)

建物の特徴

- ・各階の着車を可能にするランプウェイを2基採用。
- ・高床倉庫(1~4階)と低床倉庫(最上階)を整備することで、様々なテナントニーズに対応可能。
- ・約830坪から分割利用可能。
- ・冷凍冷蔵設備対応可能。
- ・大型車128台の待機スペース、一般車916台の収容が可能な駐車場を設置予定。
- ・全館LED照明の採用。
- ・太陽光発電設備対応可能。
- ・72時間対応の非常用発電設備を設置。

【外観パース】※下記は完成イメージです



*このプレスリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、川崎記者クラブ、神奈川県政記者クラブへ配布しております。

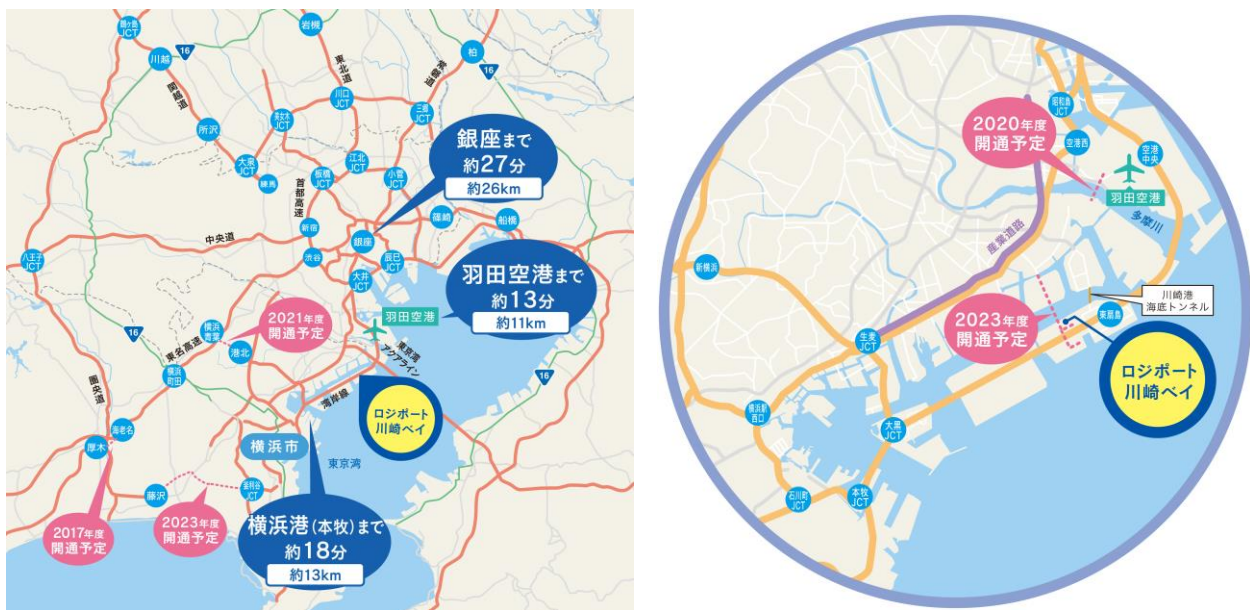
<本件に係るお問い合わせ>

ラサール不動産投資顧問株式会社 広報担当(エイレックス) 村瀬亜以 電話 03-3560-1289
三菱地所株式会社 広報部 電話 03-3287-5200
ロジポート川崎ベイ HP <http://logi-port.com/kawasakibay/>

【施設概要】

施設名： ロジポート川崎ベイ
所在地： 神奈川県川崎市川崎区東扇島7番1他(地番)
敷地面積： 134,832.22 m²(約40,786坪)
延床面積： 296,798.74 m²(約89,781坪)
構造・規模： 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地上5階建、制震構造
設計監理監修： 株式会社久米設計
設計施工： 株式会社大林組
施主： 東扇島プロパティー特定目的会社
用途： マルチテナント型物流施設
着工： 2017年12月15日
竣工： 2019年5月31日(予定)

【周辺地図】



ラサール インベストメント マネージメントについて

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 576 億米ドルです(2017 年 3 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、www.lasalle.com をご覧ください。

三菱地所について

三菱地所株式会社は日本を代表する総合不動産ディベロッパーです。東京・丸の内における街づくりをはじめ、オフィスビル・商業施設・住宅・ホテル等の開発・運営等、数多くのプロジェクトを手掛けています。海外においては、全米各地や英国・ロンドンで不動産賃貸・開発事業を展開するほか、中国・ベトナム・シンガポールなどでマンション・アウトレット開発事業に参画するなど、アジアにも積極的に進出しています。2013 年 4 月には、当時都市開発事業部内に設置していた物流開発室を物流施設事業部として独立させ、物流施設開発事業のいっそうの強化を図っています。詳しい情報は、<http://www.mec.co.jp/> をご覧ください。

NIPPO について

株式会社NIPPOは JXTG グループの一員で、国内最大手の舗装事業者です。舗装・土木工事とアスファルト合材の製造販売を中核事業とし、この他、オフィスビル等の建築工事、マンション分譲やオフィスビル等の賃貸事業および市街地再開発事業を手掛ける不動産開発事業、土壌浄化事業、海外事業等、幅広く事業を展開しています。不動産開発における新規事業の一環として、大型物流倉庫開発にも取り組んでいます。詳しい情報は、<http://www.nippo-c.co.jp/> をご覧ください。